

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(静岡県 令和4年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	メニュー (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時(令和〇年)	〇年後(令和〇年)	〇年後(令和〇年)	〇年後(令和〇年)	目標値(令和〇年)				達成率	計画時(平成〇年)	〇年後(平成〇年)	〇年後(平成〇年)	〇年後(平成〇年)				目標値(令和〇年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
静岡市	加瀬沢地区柑橘栽培組合	果樹	【果樹】振興品種の栽培面積の割合の3ポイント以上増加	H24 77.4 (12.19ha/15.75ha)	R1 104.8 (16.50ha/15.75ha)	R2 104.8 (16.50ha/15.75ha)	R3 104.8 (16.50ha/15.75ha)	R3 100 (15.75ha)	121.2%	振興品種の栽培面積の割合が27.4ポイント(4.31ha)増加した	果樹	【果樹】10a当たり労働時間の5ポイント以上縮減	H24 174時間	R1 117時間 (32.8%)	R2 129時間 (25.9%)	R3 142時間 (18.4%)	R3 144時間 (17.2%)	106.7%	10a当たりの労働時間は、142時間で、18.4%縮減された。成木となり作業時間が増加した。	耕種作物小規模土地基盤整備優良品種系統等への改植・高接(改植1.20ha)	2,031,647	936,000	0	0	1,095,647	平成26年3月31日	実施計画どおりに植栽がなされた。なお、振興品種の割合は増加が期待される。	計画に基づき園地への振興品種の植栽が行われ、平坦な園地での栽培を行うことで労働時間が削減された。	
静岡市	二本松地区柑橘栽培組合	果樹	【果樹】振興品種の栽培面積の割合の3ポイント以上増加	H24 35.6 (10.97ha/30.80ha)	R1 115.9 (35.70ha/30.80ha)	R2 115.9 (35.70ha/30.80ha)	R3 115.9 (35.70ha/30.80ha)	R3 100 (30.80ha)	124.7%	振興品種の栽培面積の割合が80.3ポイント(24.73ha)増加した	果樹	【果樹】10a当たり労働時間の5ポイント以上縮減	H24 229時間	R1 111時間 (51.5%)	R2 126時間 (45.0%)	R3 142時間 (38.0%)	R3 144時間 (37.1%)	102.4%	10a当たりの労働時間は、142時間で、38.0%縮減された。成木となり作業時間が増加した。	耕種作物小規模土地基盤整備優良品種系統等への改植・高接(改植9.58ha)	11,412,070	5,171,000	0	0	6,241,070	平成26年3月31日	実施計画どおりに植栽がなされた。なお、振興品種の割合は増加が期待される。	計画に基づき園地への振興品種の植栽が行われ、平坦な園地での栽培を行うことで労働時間が削減された。	
静岡市	矢部地区柑橘栽培組合	果樹	【果樹】振興品種の栽培面積の割合の3ポイント以上増加	H24 39.2 (12.95ha/33ha)	R1 107.0 (35.30ha/33ha)	R2 107.0 (35.30ha/33ha)	R3 116.1 (38.30ha/33ha)	R3 100 (33ha/33ha)	126.5%	振興品種の栽培面積の割合が76.9ポイント(25.35ha)増加した	果樹	【果樹】10a当たり労働時間の5ポイント以上縮減	H24 224時間	R1 115時間 (48.7%)	R2 123時間 (45.1%)	R3 132時間 (41.1%)	R3 144時間 (35.7%)	115.0%	10a当たりの労働時間は、132時間で、41.0%縮減された。成木となり作業時間が増加した。	耕種作物小規模土地基盤整備優良品種系統等への改植・高接(改植1.66ha)	1,894,451	850,000	0	0	1,044,451	平成26年3月31日	実施計画どおりに植栽がなされた。なお、振興品種の割合は増加が期待される。	計画に基づき園地への振興品種の植栽が行われ、平坦な園地での栽培を行うことで労働時間が削減された。	
菊川市	遠州夢咲農業協同組合	野菜(トマト、ミニトマト)	【野菜】当該品目の秀品率その他品質の上位規格品の割合を15ポイント以上増加	H29 53.2% (LMS6,366,344個/全体11,956,731個)	R1 53.6% (LMS5,142,962個/全体9,603,948個)	R2 51.9% (LMS5,498,295個/全体10,584,690個)	R3 56.5% (LMS5,713,508個/全体10,110,517個)	R3 68.2% (LMS8,159,854個/全体11,956,731個)	22.0%	トマト機械選別果実数に占めるM・L・S階級の割合は56.5%であった。(R3はR3.9～R4.7の実績)	野菜(トマト、ミニトマト)	【野菜】当該品目の全量出荷に占める契約取引の割合を33ポイント以上増加	H29 49.4% (契約1,205,500kg/全体2,439,036kg)	R1 65.0% (契約1,384,100kg/全体2,129,585kg)	R2 0% (契約0kg/全体2,289,105kg)	R3 0% (契約0kg/全体2,344,13kg)	R3 82.4% (契約2,094,702kg/全体2,542,114kg)	-149.7%	トマト、ミニトマトの出荷量(kg)に占める契約取引量は0% (R3はR3.9～R4.7の実績)	集出荷貯蔵施設(処理費トマト15,000個/hr、ミニトマト6.5t/日)大玉トマト選果関係機械1式ミニトマト選果関係機械1式情報・制御設備1式共通設備1式工事費消費税	385,560,000	178,500,000	0	0	207,060,000	令和元年9月26日	R2作に比べ大玉トマトのLMS階級の出荷比率は高くなったが、黄化葉巻病を始めとする病害が多発生していることから、上位規格品の目標達成には至らなかったが、コナジラミを防除できる生物農薬の活用等を指導をしていくことで目標達成を図る。また、昨年度に引き続き、コロナ禍により市場訪問ができず契約書の締結まで至らなかったため目標を達成することができなかった。	トマトの重要病害虫であるコナジラミにより、黄化葉巻病を始めとする病害が多発生していることから、上位規格品の目標達成には至らなかったが、コナジラミを防除できる生物農薬の活用等を指導をしていくことで目標達成を図る。契約販売については、令和2～3年のトマトの需要が不安定であり、市場との数量契約が困難であったと考えられる。今年度は、産地として安定供給を図った上で、市場訪問の再開等により、契約取引に向けて指導していく。	

都道府県平均達成率	77.8%	総合所見	4事業中3事業については、目標を達成しており、十分な事業効果が得られた。野菜の集出荷貯蔵施設の1事業については、病害虫被害並びに契約取引の不調により目標未達成となった。しかし、天敵導入や物理的防除等の組み合わせにより果実品質は改善傾向にあり、引き続き品質向上並びに市場の求める安定供給体制の構築を図り、契約締結に向けた指導を行っていく。
-----------	-------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。  
 2 要綱第3の4の(2)のAのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。

II 食品流通の合理化を目的とする取組用

市町村名	市場名	事業実施主体名	取組の分類	メニュー	成果目標の具体的な内容	成果目標 I						成果目標の具体的な実績	メニュー	成果目標の具体的な内容	成果目標 II						成果目標の具体的な実績	事業内容 (施設区分、構造、規模等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
						計画時 (平成△年)	1年後 (平成□年)	2年後 (平成◇年)	3年後 (平成○年)	目標値 (平成○年)	達成率				計画時 (平成△年)	1年後 (平成□年)	2年後 (平成◇年)	3年後 (平成○年)	目標値 (平成○年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他						
〇〇市	〇〇市中央卸売市場	〇〇市	中央卸売市場施設整備	安全・安心な市場流通	物品鮮度の保持) 低温売場販売率が低温売場面積率を超過	低温売場面積率 (平成△年) △△%	低温売場販売率 (平成□年) □□%			低温売場販売率 (平成○年) ○○%	〇%超過	低温売場販売率が低温売場面積率を超過した	効率的な市場流通	(物流コスト等の削減) 物流コストの削減	物流コスト (平成△年) △△千円	物流コスト (平成□年) □□千円			物流コスト (平成○年) ○○千円	〇%削減	物流コストが〇%削減された	卸売場の改良 (鉄骨造 2 階建) (……)											
函南町	地方卸売市場 東海青果市場	東海食品青果(株)	-	-	被災した施設機能の100%復旧	-	R1 100%	R2 100%	R3 100%	R3 100%	100%	被災箇所の復旧状況 5/5	-	-	-	-	-	-	-	-	〇地方卸売市場東海青果市場施設の修繕 ・売場施設の修繕(受付及び管理入室の床・クロス張替え(72.9㎡)、電気(15ヶ所)・給排水工事(4か所) ・プレハブ冷蔵庫2棟の扉交換、電機工事(1か所) ・附帯施設の修繕(浄化槽パワー交換工事(200V、0.75kw)) ・電話機交換(主装置・電話機3台) ・電灯トランス交換(40kva)、動力トランス交換(100kva)	3,940,200	1,191,000	0	0	2,749,200	令和2年3月27日	被災した施設機能の回復が図られた。	計画通り、卸売市場の被災した施設の機能回復が図られた。				

都道府県平均達成率	100%	総合所見	計画通り、卸売市場の被災した施設の機能回復が図られた。
-----------	------	------	-----------------------------

- (注) 1 別紙様式1号の2のIIに準じて作成すること。  
 2 別添として、各事業実施主体等が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 3 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 4 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 5 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。